

F-REI 市町村座談会（相馬市）議事要旨

1. 日 時 令和5年12月19日(火) 16:00～17:00

2. 場 所 相馬市役所3階 正庁

3. 議 事

(1) 開 会

(2) 挨 拶

(3) F-REI の取組紹介

(4) 意見交換

<テーマ> F-REI との未来の連携について

(5) 閉 会

【主な発言内容】

- 相馬市は漁業が盛んな街である。ぜひ東北大学農学部水産学科を誘致できるような力添えをいただきたい。相馬市には水産資源研究所があり、タイアップする土壤がある。
- 東北中央自動車道（相馬福島道路）の完成で交通の便も改善されたが、魚が安定的に獲れなくなっている状況であるため、魚をつくり育てる漁業や相馬市の特産品であるフグの6次化について研究していただき、まちの活性化に繋げていただければと考えている。
- 震災後に新規就農して、野菜栽培と養鶏を行っている。コロナ禍において、オンラインで卵取りを体験する取組を行ったところ、他県からの参加者がいるなど好評だった。この取組について、VR等を使って疑似的に体験できれば臨場感が増し、それが観光にも繋がり、まちが活性化していくのではないかと考えている。
- 当社は、昭和7年の創業以来、様々な産業分野を経験してきたが、コロナ禍で一時的に受注が減少したことを受け、最近の研究開発に力を注いでいる。航空宇宙関係では JAXA の受注でガス採取装置の開発を行ったほか、大学と連携して新素材の共同開発等を行っている。
- 研究開発を継ぐ若い研究者がいなことが最大の問題点あり、大学やF-REI等の研究機関の後押しで、将来研究に携わっていくような人材を小学生の頃から育てていくことに期待している。人材が育てば、F-REIの研究も花開くと考える。

- 相馬市には松川浦という潟湖があり、震災前は潮干狩りや水産業等が盛んで市の大きな観光資源であったが、アサリやアオサノリの養殖はまだ震災前の水準まで回復していない。

- 松川浦の干潟の奥にセシウムが滞留していると言われており、潮干狩りなどの観光客に心配を与えているため、F-REI には、一緒にモニタリングしていただき、水産物の安全性を情報発信できるようになることを期待している。

- 漁業も人手不足に悩まされており、スマート化や法人化による大規模化などで生産力を上げ、松川浦の漁業が一つのビジネスモデルになるようなお手伝いを F-REI にお願いしたい。

- 当社では、水産物の加工を行っている。相馬港では最近フグがよく水揚げされており、フグのブランド化に取り組んでいる。フグの力によって福島のを PR し、また、モニタリング結果を見られるようなプラットフォームができれば、福島県の魚の安心安全を伝えられると考えるので、支援をお願いしたい。